

ランディングページ掲載内容

【NEWS】

ムービーに関する新着情報等を掲載します。

【STORY】

地方都市“倉吉”に住みながら、都会で俳優になる夢を密かに抱く花子。夫に先立たれ、一人で飲食店を経営しながら花子を育てる母。

ある日、花子のスマートフォンに東京での最終オーディションへの合格通知が届く。

出発の日、母から渡された弁当を食べながら、家族の愛情を感じて涙する花子……。

花子の夢は叶うのか。母の本当の思いは……。

家族やまちの支えを胸に新たな一步を踏み出す花子。

これは、地方に暮らす家族の絆と愛情を描いたストーリー。

<脚本・監督 羽原大介>

【CAST】

中村 守里（倉吉花子役）…地方で暮らしながらも俳優になる夢を抱く若者

生方 和代（花子の母役）…飲食店を経営しながら娘を育てる女性

片岡鶴太郎（花子の父役）…娘の心に生き、エールを送る父

【MOVIES】

・3部構成になっている動画を、順次公開していきます（5月30日時点では未公開です）。

【LOCATION】

・撮影を行った観光地等の情報を掲載しています。

【COMMENT】

■脚本・監督 羽原大介氏コメント

物語の起点は、かつて私が倉吉駅から寝台特急『出雲2号』に乗り込み東京に旅立った経験、芸能の世界で学び成長させてもらった日々の思い出です。その骨に主演の中村守里さん、生方と代さん、片岡鶴太郎さんら俳優部が熱い血肉を通わせ、丈夫で力強いドラマに育てていただきました。

企画からお付き合い下さった沼田プロデューサー始め、宮崎撮影監督ら優秀なスタッフに敬意と感謝をお伝えすると共に、ふるさと納税で支援して下さった株式会社チュウブ様、ロケ場所を提供して下さった皆さん、荒天の中お集まりいただいた田中響先生を始めとするボランティアエキストラの皆さん、撮影場所探しに奔走し撮影中は黙々と人止め車止め、ロケバス運転手まで担って下さった毛利さん片岡さんを始めとする倉吉市役所の皆さん、宿泊の手配をして下さったNPO法人未来の岸田寛昭さん、衣装・小道具を集めて下さった山田美鈴さん、舞台フラガール23の皆さんにも心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

（広田市長の演技に関するコメントはここでは控えさせていただきます笑）

この作品が倉吉で暮らす皆さんのふるさと再発見の機会となり、倉吉にゆかりのある方々、これから訪れてみようと考えていらっしゃる方々の背中を押し、倉吉市の明るい未来への一助となることを心より願っております。

■主演 中村守里コメント

いつも味方でいてくれる存在がどんな時も自分の心を支えてくれます。この物語の主人公の花子は東京へ向かう列車の中、お母さんが作ってくれたお弁当を見て、必ず夢を叶えるぞと決意しました。私自身も応援してくれている人達に恩返しができたらいいなと思っています。鳥取県倉吉市の澄んだ空気と自然を感じながら今まで愛をくれた人達のことを思い出しました。

■母親役 生方と代コメント

誰かを大切に思い、誰かから大切に思われることにより、人は優しくなれたり、強くなれたり、勇気や自信が

沸いてきたり…本当に魔法のような力を持っていますよね。

きっとそれを「愛」というのかな、と思います。

この作品「ありがとう」には、そんな「愛」がたくさん詰まっています。シナリオにも登場人物にも。

初めて訪れた倉吉という街で出会うことが出来た穏やかで温かい人々…。みなさんと共に取り組んだ撮影の日々は、私にとって今もこれからも大切な宝物です。

愛情たっぷりの手作り弁当のように、この作品をご覧いただく皆さんの心に大きな「愛」が届けと願います。

大切な人を思い、そして大切に思われていることに気付く、そんな時間を、この「ありがとう」をご覧になりながら過ごして頂けたら幸いです。

■広田市長コメント

昨年度の倉吉市制 70 周年にあたり、記念事業の一環として、私たちの愛するまち・倉吉の魅力を再発見し、未来への架け橋を築くための特別なプロジェクトを進めてまいりました。

この度、倉吉市出身の脚本家である羽原大介さんの卓越した才能により、心温まる観光 PR ムービーができました。

このムービーでは、故郷の温もりと都会での挑戦という二つの世界を描きながら、夢を追い続ける若者の姿を通じて、故郷への思いを描いています。

私も端役として出演させていただきましたが、この作品を通して、皆様に故郷の大切さを感じていただくとともに、倉吉の魅力「くらしよし ふるさと」が伝わることを願っています。

ぜひ、この作品を通じて、倉吉のまちの魅力を見つけてください。

この作品を皆様にお届けできることを大変嬉しく思います。どうぞご期待ください。